

一般社団法人日本室内空気保健協会

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>私たちは、環境由来で起こる健康被害者を減らし、誰一人取り残さない安全な空気の部屋で過ごすために社会全体（産官学市民）を繋げていきます。そのために、日常時や災害時に老若男女が良質な室内環境で過ごすために、室内空気質改善に関する研究、調査、講習、交流、コンテスト、啓発など行い社会変革をしていきます。</p> <p>また、誰一人取り残さない世の中にするために、空気で困っている方の団体に会費の一部や寄付などを原資に助成支援します。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	1 1	IAQ（室内空気質）改善コンテスト開催し、入賞者に対し、広報支援、マッチング支援など行い、開発が促進できるように都市や人間の居住地を誰も排除せず、安全かつレジリエントで持続可能にする	2021年コンテストの応募数20（回）目標→2025年応募数100（回）目標
	社会	1 0	室内空気質の汚染物質で化学物質過敏症患者、シックハウス症候群患者は苦しんでいるので、周囲の理解が必要なため国内および各国間の不平等を減らすために化学物質過敏症サポーターの資格者を増やす	2021年12月資格取得者数50（年）目標→2025年資格取得者数100（年）
環境	1 7	日常時、災害時に、誰もが室内空気質が安心安全で過ごすために、産官学市民が繋がっていないとできないので、様々な業種の方々に当協会の会員になっていただく。	2021年8 会員数目標→2025年50会員数目標	